



恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会／勝山市

4 眺望地点

スキージャンプ勝山のグレンデ内を縦横断する林道からは、勝山市の地形や風景を楽しむことができます。加越山地と越前中央山地に囲まれる勝山盆地の様子や九頭竜川の浸食作用により形成されたと考えられる「志比の河谷（しいのかこく）」などの地形を眺望することができます。

5 ガラス質安山岩の露頭

芳野ヶ原台地には、黒く硬い岩石（ガラス質安山岩）が多く露出しています。何層にもなっていることから繰り返し噴火があったと考えられます。この岩石は鋭く割れることから、縄文時代には石器に加工され利用されていました。市内の縄文時代の遺跡からは、この岩石を使った石器やナイフのような剥片石器が多量に見つかっています。尾根続きでの長尾山（かつやま恐竜の森）は、発掘調査の結果、石器の加工場所であったと考えられています。



黒く光るガラス質安山岩



ガラス質安山岩から作られた剥片石器

6 ねまり杉

法恩寺山の「中の平」には樹齢約320年と言われる大きなスギがあります。現在も樹勢はよく、根元は1本であるが、地上

林道法恩寺線ルート

村岡町暮見を起点とする広域基幹林道法恩寺線沿いには、新生代第四紀に火山活動によって形成された経ヶ岳や法恩寺山の地質・地形遺産が点在します。

法恩寺山の溶岩流により形成された芳野ヶ原台地はスキージャンプ勝山として活用されており、そこに露出するガラス質安山岩からは、旧石器時代～縄文時代にかけての勝山市の祖先の歴史を学ぶことができます。また、2種類の節理構造が見学できる弁ヶ滝や美しい柱状節理構造を持つ御堂之滝、釣鐘岩などの地質遺産を楽しむことができるルートコースです。

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク

「ジオパーク（Geo Park）」とは、地質・地形遺産を野外や博物館などで実際に見て、本やインターネットでは得られない手触りや体験、その迫力から「地球」や「大地」の秘密や歴史を探り、自然や人間の生活にどのように関わっているか考えることができる場所です。

「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」は、勝山市全域をエリアとし、「恐竜、恐竜化石」をメインテーマに掲げ、サブテーマ「火山と火山活動」、「地質・地形遺産と人々の暮らしとの関わり」とともに、地球活動の遺産を目で見て肌で感じることができるジオパークです。

ジオパーク、林道法恩寺線ルートに関する連絡先

〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1
勝山市役所未来創造課内 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会事務局
TEL：0779-88-1115 FAX：0779-88-1119
E-mail：fk-geo@city.katsuyama.lg.jp
HP：http://www.city.katsuyama.fukui.jp/geopark/

約1mの所で2本に分かれています。また、根元から数本の枝がでており、「ねまり杉」という名にふさわしい姿をしています。

7 白山（越前）禅定道（法恩寺山登山道）

法恩寺山頂上に通じる登山道は、白山（越前）禅定道（歴史の道百選）とも呼ばれ、その昔多くの修験僧たちが白山をめざして行き来した修験道です。法恩寺山頂までは、石畳などの階段がつづき、中の平からは初心者でも1時間20分程度で登頂することができます。頂上からは、赤兎山、大長山、白山、経ヶ岳などのかつて火山活動を行っていた加越国境の山々を一望することができます。

8 弁ヶ滝

弁ヶ滝は、経ヶ岳火山の中腹から流れ落ちる落差約40mの滝で、経ヶ岳火山から流れ出た溶岩がつくる滝壁では、柱が何本も並んでいるように見える柱状節理と、板が何枚も重なっているように見える板状節理の2通りの節理を童子に観察できます。また、平泉寺の稚児「弁の君」が身を投げたとも伝わる場所です。



柱状節理



板状節理

林道法恩寺線

勝山市村岡町暮見と大野市南六呂師を結ぶ全長28.1km、幅員5.0mの全線舗装の森林基幹道。早春から晩秋まで自然を堪能できるドライブコースです。（冬期間は通行不可）



林道法恩寺線（写真提供：福井県奥越農林総合事務所 林業部）

●経ヶ岳／法恩寺山

経ヶ岳、法恩寺山はともに約100万年前に活動をしていた火山です。法恩寺山は、経ヶ岳より年代の新しい時期に火山活動を行っていました。

経ヶ岳周辺の法恩寺山や取立山、大長山など一連の火山活動により成層火山を形成していたと考えられています。それらの山々を総称して「経ヶ岳火山」と呼んでいます。現在は、その後の山体崩壊や浸食作用により、山体の大半が失われたと推測されています。

経ヶ岳：標高1,625.2m、法恩寺山：標高1,356.7m



加越山地の山々（▼経ヶ岳、▼法恩寺山）

9 御堂之滝 10 釣鐘岩 11 面谷流紋岩露頭

御堂之滝は経ヶ岳火山の溶岩によってつくられた落差約50mの水量豊富な2段の滝で、溶岩が固まるときにできる柱状節理が観察できます。北隣には同じく美しい柱状節理の見られる釣鐘のかたちをした「釣鐘岩」と呼ばれる岩体を遠望することができます。

また、釣鐘岩橋の下には、恐竜時代の中生代白亜紀末期の面谷流紋岩（濃飛流紋岩類）と呼ばれる成層した白色の岩石が露出しています。基盤である面谷流紋岩がマグマにより持ち上げられこの位置に露出していると考えられます。



釣鐘橋付近

法恩寺山有料道路

法恩寺山有料道路は、国道157号暮見交差点からスキージャンプ勝山までの間の延長6.6kmの一般有料道路です。

通行料金は、普通車800円、軽車両など80円（大型車は別途料金有）。毎年、GW期間中や夏休み期間中に通行料金の半額キャンペーンが実施されています。

車酔いが心配な方は、スキージャンプ勝山まで、この法恩寺山有料道路を使用するルートもあります。

1 暮見川沿いの板状節理露頭

経ヶ岳火山の初期の火山活動により形成された溶岩の層が観察できます。溶岩が冷却する際にできた板が何枚も積み重なったように見える板状節理の切り立った岩壁が点在しています。

2 火山砂防えん堤

暮見川には、山腹の崩壊などによる自然災害（土石流災害など）を防ぐための鋼鉄製の砂防えん堤が設置されています。このえん堤は、鋼管をジャングルジムのような立体格子状に組み合わせた砂防えん堤で、土石流とともに流木をくい止めることができる格子型の鋼製スリットえん堤です。

3 スキージャンプ勝山／芳野ヶ原（溶岩）台地

法恩寺山中腹の北東斜面に広がる緩やかな斜面は、法恩山の火山活動により形成された「芳野ヶ原」という溶岩台地です。その斜面は、西日本最大級のスキー場「スキージャンプ勝山」のグレンデとして利用されています。

また、スキージャンプ勝山の施設内には、大地の恵みを受けた天然温泉パノラマ展望の露天風呂付「ささゆり」があります。

（☎0779 - 87 - 6109）



温泉大浴場ささゆり（写真提供：スキージャンプ勝山）



芳野ヶ原台地（写真提供：福井県奥越農林総合事務所林業部）

コースエリア内を流れる河川の紹介

●暮見川

村岡町暮見を源流とし、九頭竜川に合流する延長3.50kmの一級河川。

源流から村岡町暮見集落にかけての谷が大きく浸食されています。



●女神川

釣鐘橋から約900m上流を源流とし、九頭竜川に合流する延長7.20kmの一級河川。

御堂之滝付近から平泉寺町平泉寺に続く林道沿いでは女神川が浸食した峡谷地形（V字谷）を見ることができます。





ルートコースのおよその距離及び所要時間

自動車

-
- 暮見交差点（国道157号線）
↓ 約1.2km（00：03）
- ① 暮見川沿いの板状節理露頭
↓ 約3.6km（00：10）
- ② 火山砂防えん堤
↓ 約2.1km（00：05）
- ④ 遠望地点 —————→ ③ スキージャン勝山／
↓ 約2.3km（00：05） 芳野ヶ原（溶岩）台地
約2.1km（00：05）

Driving

- 5 ガラス質安山岩の露頭
↓ 約2.9km (00:07)
- 6 ねまり杉
↓ 約1.0km (00:03) ※ねまり杉入口
- 7 白山(越前)禅定道
↓ 約1.4km (00:05)
- 8 弁ヶ滝
↓ 約2.3km (00:07)
- 9 御堂之滝 10 釣鐘岩 11 面谷流紋岩露頭

※所要時間は片道のもので、自動車による標準的な移動時間です。



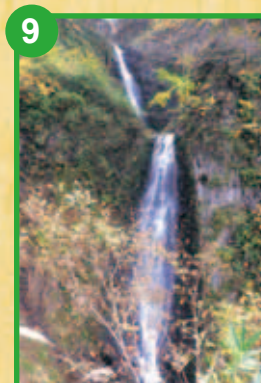
スキー・ジャム勝山／芳野ヶ原溶岩台地・眺望地点



ガラス質安山岩の露頭



弁ヶ滝



御堂の滝



ねまり杉（市天然記念物）



白山(越前)禅定道(法恩寺山登山道)



釣鐘岩



面谷流紋岩（女神川河床）